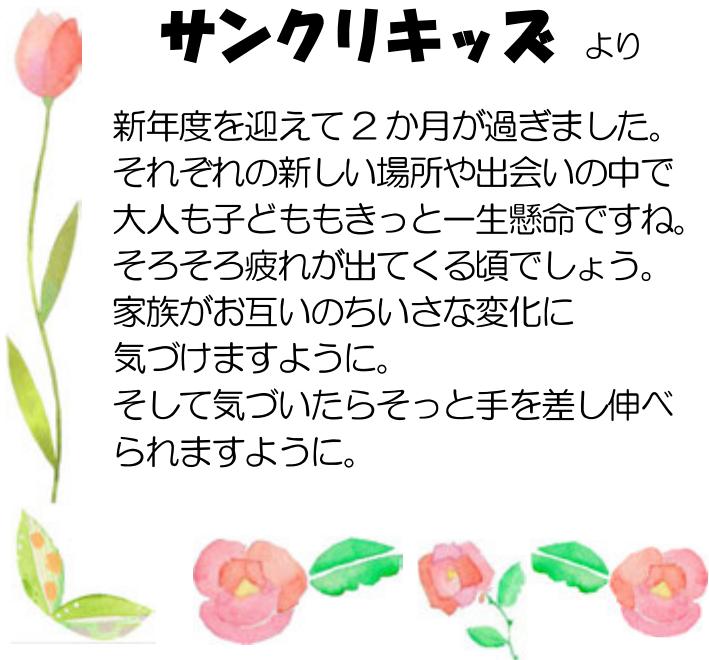


病児保育室

サンクリキッズ より

新年度を迎えて2か月が過ぎました。
それぞれの新しい場所や出会いの中で
大人も子どももきっと一生懸命ですね。
そろそろ疲れが出てくる頃でしょう。
家族がお互いのちいさな変化に
気づけますように。
そして気づいたらそっと手を差し伸べ
られますように。



令和三年六月一日発行 住所 横浜市旭区柏町

★TEL 045-3366-6821

第45号

サンクリーグ通信

今年度の取り組み

昨年度一年間は、新型コロナウィルス感染症
により、生活が一変してしまいました。

病児保育室も利用される方が激減し、全国的にも
苦境に立たされています。

これから働き方・子育ての在り方など、
多くの方が立ち止まり見つめなおしたり、…
転換期なのかもしれません。

私たちも病児保育室として、これから社会に
どう位置付けてゆくべきか、真摯に向き合って
いきたいと思います。



- | | |
|---------------------|------|
| 病児保育室サンクリキッズより | 1~4頁 |
| サンクリーグ30周年と私 | 5~6頁 |
| 新任医師の紹介 | 7頁 |
| 「副反応」と「副作用」の違い | 8頁 |
| おかあさんのための小児外科シリーズの～ | 11頁 |
| お知らせ | 12頁 |



今年度も、新しく保育園や幼稚園等デビューを果たしたお子さんが、大勢登録してくださいました。

昨年度の春は、新型コロナウィルス感染症の影響で、お母様方の職場復帰が4月のタイミングで出来なかつたり、学校の休校や保育園の登園自粛要請もあって、復帰そのものをあきらめたり…

保護者の方にも様々な不安もあったのか、新規登録減の状態でしたので、1年経って状況の変化を実感しています。

また0～1歳前後の赤ちゃんたちは、このコロナ禍で無事誕生されたのですね。面会制限・立ち合い禁止など厳しい制約の中で、不安を抱えながらのご出産、本当に大変だったと思います。

その後も赤ちゃんに病気をうつすわけにはいかない！と、コロナウィルスはじめ感染症対策には、人一倍気を張って、頑張ってこられたのではないでしょうか。

本当にお疲れ様です。

この春から始まった新しい集団生活。

守られた家族内だけの小さな単位から大きな集団へ。

保護者様の不安は尽きないとは思いますが、その大変な、でも案外短い子育て期間の前半を、病児保育室サンクリキッズもお手伝いさせていただきます。



「保育園は体温37.5°C以上になるとすぐにお迎えコールが…



体温は測るタイミングや測り方によっても数値に幅が出やすいものです。

保育園での計測がどのタイミングのものなのか、食欲がない・元気がないなど全体の様子を総合した上でのお迎え依頼なのか、気になってしまふ時もあるかもしれませんね。

しかし今は特に乳幼児が集団で過ごす場として、警戒度が高まっていますのでやむを得ないのでしょう。咳や鼻水症状だけで呼び出される園も多いと思います。

働く親としては何とも悩ましい事態ですが、なんせコロナウィルスが普通の風邪症状と見分けがつかないので、施設側も厳しい対応をせざるを得ません。

考えられる対応策として・・・

【おうちでの姿を意識的に伝えて、我が子のことをよく知ってもらうこと】

平熱が高いとか、汗をかきやすいとか、咳吐きしやすいとか……先生たちも子どもたちの特徴が分かっていれば対応方法を考えられますし、親御さんをすぐに呼ばなくてもしばらく様子を見て判断するという柔軟な姿勢がとれるかもしれません。

【日頃の活動範囲をコンパクトにする】

緊急事態宣言やまん延防止重点措置など地域によってはまだまだ警戒が必要な状況です。小さなお子さんがいるとどこかへ遊びに連れて行ってあげたい、おじいちゃん・おばあちゃんに会わせてあげたい……などご家庭なりのお考えはあると思います。

でもせめて県外への外出は控える・祖父母宅への宿泊はしない・普段会わない人との長時間の接触は控えるなど、行動をひとまわり小さくすることは出来ませんか？ それだけでもリスクを抑えることが出来ますし、意識して気をつけているご家庭だと知ってもらうことで、園との関係も良好になるのではないかと思う。

「子どもが病気になったら病児保育室？本当に預けても大丈夫なのかな？」



病児保育室で他の病気をうつされてしまうのでは？ と心配されるのは当然のことだと思います。

確かに二次感染が絶対ないとは言い切れません。しかしそれを極力避けるために、受け入れ時点での詳細な病状確認をもとに、コロナウィルス抗原検査をはじめ必要な諸検査を行い、隔離の必要性を判断しています。まずは「今回の病気はコロナではなさそうだ」ということが初めの段階で分かるだけでも、だいぶ安心していただけるのではないでしょうか。

サンクリキッズご利用の皆様へ



病児保育室では、“病気のお子さまをお預かりする”という事業の性質上、どうしても慎重な対応を取らざるを得ません。そのため皆様にはご不便をおかけしてしまうこともありますが、出来る限りお力になれますよう職員一同懸命に取り組んでおります。お困りのことがありましたらいつでもご相談ください。



1. 入室前に必ずサンクリニック小児科(発熱専用)で診察を行います。症状の経過やご家庭周辺の状況を十分にお聞かせいただいた上で、新型コロナウイルス抗原検査(迅速キット使用)を受けていただきます。(費用はかかりません)
まずはコロナウイルス陰性を確認し、症状に適した他検査や処方を行います。診察の結果によっては、お預かりをお断りする場合もありますことを、あらかじめご承知おきください。
2. お子さまやご家族の通園・通学先、勤務先等でコロナウイルス感染症が確認され、濃厚接触者として自宅待機等を指示されている方がいらっしゃる場合は、ご利用できません。
3. 送迎は体調に問題のない大人の方でお願いします。また、3歳以上のお子さまはマスクの着用をお願いします。
4. 保育室職員は検温・手指消毒を徹底し、毎日の健康観察に努めています。保育中はマスク・予防衣着用の上、手袋・目の防護具(メガネ・ゴーグル等)を装着させていただきます。

サンクリキッズ

検索



保育士：松崎実和

サンクリニック30周年と私

サンクリニックは、平成3年4月1日に開院しましたので、本年4月1日で30年になりました。開院20年の時より、30年のほうが感慨深いものがあります。そして今年の4月1日は小児科が駅前に移つて5年となりました。この5年は節目の年ですね。

30年前は、長女が小学校入学の年でした。その長女はなんと3児の母です。次女は保育園年中組でしたが、やはり1児の母。1歳だった長男はこの4月から当院にパート医師として勤務、内科を手伝ってくれています。孫2人がこの4月小学1年生です。孫はその小学生を筆頭に5人います。



30年振り返れば、山あり谷あり。これまでかかわってくれた人は何人いるでしょう。パートを始めた全従業員は約の10人、登録患者数は内科2万数千人、小児科は2万人弱。患者様のご家族の方々もたくさんいます。いろいろな方に出会い、たくさんのことをおぼせていただきました。医師としてだけではなく、親としておとして、友だちとして、先輩として、後輩として、いろんな立場からの学びがありました。

30年前はバブル真っただ中、融資は簡単に受けられたものの

金利はとても高く、返済が大変でした。でもすぐに「バブル崩壊、患者数が少し増えた」というのに、金利が減ってきて、一息つかました。当初2階の踏み「サンクリニック内科」、1階を「サンクリニック小児科」として別医療機関としていましたが、7年後の平成10年から合併して「サンクリニック」にしました。その後平成16年5月に法人化し「医療法人 想愛会 サンクリニック」となり、平成25年3月には「病児保育室 サンクリキッズ」を併設しました。その後南万騎が原駅前再開発に伴い、平成28年に「医療法人 想愛会 サンクリニック」から独立して「医療法人 想愛会 サンクリニック小児科（病児保育室サンクリキッズ併設）」を南万騎が原駅前にオープンし、サンクリニックは「医療機関」になりました。



私個人の30年余りをお話しますね。開業前は乳児だった長男を背中におぶって不動産屋や役所、銀行を回っていました。開院準備中も、3人を保育園に送る迎えし、てんやわんやでした。開業後も小学校1年生と保育園児2人ですから、忙しかったし、自分のことだけ考えれる余裕もありませんでした。だから医師会の会合や勉強会、研修会、学会などもすべて不参加。でも子どもの中には大事にしたかったので、小学校や中学校の役員は率先してやつていきましたし、懇談会、授業参観は必ず出席していました。そのための開業でもあったのですから。一番上の長男が小学校に上がる頃からようやく医師会の行事や勉強会に参加できるようになりました、自分のことだけ考えるようになりました。

過去で参加したのは東洋医学関係。大学時代から東洋医学は独学でやっていたので、診療にも取り入れていました。なるべく自分の免疫力や自然治癒力で病気を治すことは大事と思っているので、これは私の「ハイブリード」。自然治癒力を最大限に活用して食べるものは重要だと思います。そんなことから飯か合の栄養士の先生方とも知り合ひましたが、講演会に呼ばれたり、講演を頼まれたりするようになりました。そのため活動が雑誌での「ママ掲載（AERA with BABY）」や雑誌の共著（エコロヒーヤーズ、『自然治癒力を高める赤ちゃんの食養生レシピ』『免疫力を高める赤ちゃんの食養生レシピ』）、テレビとも横断連携など共著）につながりました。そして数年前には単著で『クリスマス小児科医の育児百科』（農文協）を出版しました。

趣味で始めたのはパッチワーク。とにかく手作りが好きでしたので、小さいものから大きなものに仕上げる達成感がありました。もう20年あまりやっていますので、作品もたくさんあります。子どもたちが高齢になれば、身体も動かした方が良いと思い、ボウリングを始めました。今でも結構はまっています。



私の親としての目標は、自分の子どもたちを「未来を担う親に育て上げること」でした。その目標はやがて達成されたように思います。小児科医としての目標も同じような感じです。今診ている子どもたちが将来大人になったときには、お母さんになって欲しいと願っています。最近は昔小児科の患者さん

だった子が、親になつて私の子どもたちを見ながら「お母さん」として連れこめられることがあります。自分の孫を見るのもとても嬉しいです。今後はまた次の孫世代の子どもたちがより良い大人になつて素晴らしい未来が描けるように支援したいと思います。

（小児科医・相澤扶美子）



〈新任医師の紹介〉

2021年4月より毎週金曜日内科を担当させていただく
相澤一貴（あいざわ・かずたか）です。
専門分野は脳神経内科です。
現在は横浜旭中央総合病院に勤務しています。
将来にわたり、地域医療に貢献できるように頑張りたいと思っております。
(内科医・相澤一貴)



「副作用」と「副反応」の違い



新聞や、ニュースなど見たり、「へき歎の副作用とは何ですか」とか「新規ワクチンの副作用はありますか」などとの表現を見たり、聞いたことがありますかが、副作用と副反応の作用って何が違うのでしょうか。お聞きたいことがありますか。

① 副反応とは

ワクチン接種の主作用（ワクチン接種の目的）はワクチン接種によって免疫反応を起し、ワクチンが対象とするVPP（Vaccine Preventable Diseases：ワクチンで防げる病気）に対する免疫を立て上げます。一方、ワクチン接種に伴い、免疫を立て上げる以外の反応や、接種行動による有害事象を「副反応」と呼んでいます。

ここで換えると「副作用」とは（狭い意味での）副作用と接種行為が誘因となった有害事象のことを指すのです。そのため、ワクチン接種し副反応のおこったことの前後関係がある因果関係があるからこそなのです。

② 副作用とは

治療や予防のために用いる医療品の主な作用を「主作用」といい、主作用とは異なる作用を「副作用」といいます。しかし、「副作用」とこの日本語では、実際の意味が含まれてしまいます。広い意味での「副作用(side effect)」には、人体にとって有害な作用と有害でない（好ましく、肯定的）作用の両方が含まれます。

しかし、厳密には、医療品による副作用とは何ですか。語が使用されますが、医療品の副作用の題には前後関係がある、もし副作用は医療品の作用であるため、医療品の副作用（これが誤り）の題には因果関係があるのです。

つまり、「有害事象」とこの言葉が主に使われるのですが、これが医療品の技術や手術、放射線治療などの医療行為を受けた後に起った医療上のあらゆる好ましくない出来事についても。

医療行為と有害事象との間に時間的関連がある場合に使用される言葉なのですが、必ずしも因果関係があるとは限らないことがあります。そのため有害事象には、ワクチン接種後に偶然あるいは別の原因で生じた出来事も含まれます。これまで、この時間的な前後関係をただかに因果関係であるのかのアシメントが報じたり、私たちのからものとして認識するかしないかの問題が発生するので注意が必要です。

「副作用」と「副反応」は、薬やワクチンの使用後に起きたの銀髪されたかの疑惑的な影響とこの意味では同じ言葉ですが、日本では医療品の歴史だけではなく、より歴史的に使われる方が進んだとみられています。

お母さんのための小児外科 シーズン2：第7回

◆ 日常的な外科疾患

6. 陰嚢癰着（癰口）

インシソ ノチャヤク(イーフト)といひて、女の子特有の疾患です。通常の女児外性器の外観は図1のように、陰嚢を開くと上から外尿道口、陰嚢の中をかき下ろしかけて、壁口を覗めることができます。肛門はこの陰嚢から離れて会陰部後方にあるのが正常の位置関係です。ところが、本症（図2）では陰核しか見えず外からは尿道口や壁口も見えません。そこで、陰嚢を指で左右に押し開いたとしても開けず、両側の小陰嚢回士が接着して半透明の膜で被い塞がれていますが判ります。この状態が陰嚢癰着です。昔は「鎧陰（サイン）」とも呼ばれていました。これは先天的な異常ではなく、小陰嚢部の粘膜と皮膚の境田（移行部）が炎症により癰着したもので、後天的な病態です。

普通、癰着しないのは女性ホルモンの一つ、ヒストロゲンが十分な新生回帰期には役かっています。母体からのヒストロゲンが十分な新生回帰期には陰嚢癰着は見られません。この新生児を過ぎて低ヒストロゲン状態の時期に尿などの刺激による陰部皮膚のたたれ（おむつかぶれ）などによって癰着すると言われています。

この陰嚢癰着は他に主だった症状がないので気付かないのですが、乳幼兒検診で発見・診断されることが多い（1・2～1・8%）、わが国では検診が行われる生後3～4ヶ月と生後の1ヶ月にこのピークがあります。陰嚢が塞がれていてせんべい小さな穴が開いていたためオシッコが漏出ます。オシッコは出ないので異

常に漏つかけてしまうのです。オシッコの邪魔になるような塞がり方にになると、遺尿（イーフト：尿がボタボタ垂れる）や夜尿症が疑われたり、尿路感染症や膀胱炎を繰り返す原因にもなったりします。早期診断には厕所の注意深い「視診」がもっとも大切なことです。女児尿路感染症の初診で医師が「外陰部の診察」を行わなかつたため、本症の診断に至らず不要な検査まで行つてしまつて警笛している専門誌（NO10）もあります。

陰嚢癰着の治療には大きく分けて、ヒストロゲン軟膏塗布と剥離術の二つがあります。前者は癰着の原因のひとつであるヒストロゲン欠乏状態を軟膏塗布による修復するもので、同所に塗布するだけで1～2週間、時に1～8週間程度で開くことがあります。私自身はヒストロゲンクリームの使用経験はありませんが、国内ではヒストロゲン軟膏は市販されていないので個別に調剤するか、抗生素質塗布ヒストロイド軟膏（以下、RPG）が使用されます。後者の剥離術は診察室で1～短時間（数分）で済むのが利点で、私は専らこれを選択しています。具体的な処置を図3に示します。剥離でのものは皮膚の器官を傷つけないように素早く行います。が、ポイントは不安がらせないより、晒られないように体位を取るなどが肝要で、保護者の方にもできるだけ立派口つて頑張ります。

場所が場所だけに、どちらの方法も再発するところが知られています。そこで、治療別再発率を調べてみましたが、剥離のみでは17・2%，軟膏塗布のみでは0・7%，剥離に軟膏塗布を追加した場合の0・6%，という結果でした（表1）。このところから、剥離後は毎週5日を2週間程度塗布するところになります。私個人の経験では2008～14年では14名中2名に再発がありました。だが、2015～20年では11名中再発はゼロでした。剥離の後、毎日の入浴時には陰嚢を左右に上下左右に洗つて、お薬（R

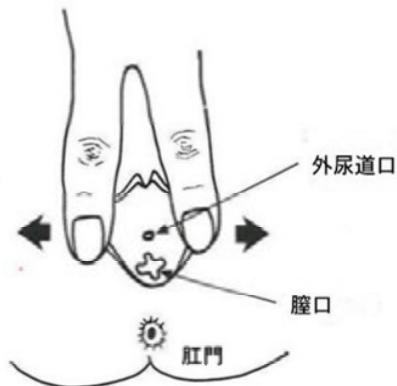


図1 女児外陰部の外観

Hutson, Beasley :The Surgical Examination of Children, 2nd, Springer, 2013より

＞（Gまたはワセリン）をつけて同所の清潔を保つことがお家でできることを再発予防策です。外来での経過観察も一ヶ月は診させていただいております。

（小児外科医・八塚正四）



図2 陰唇癒着の外観

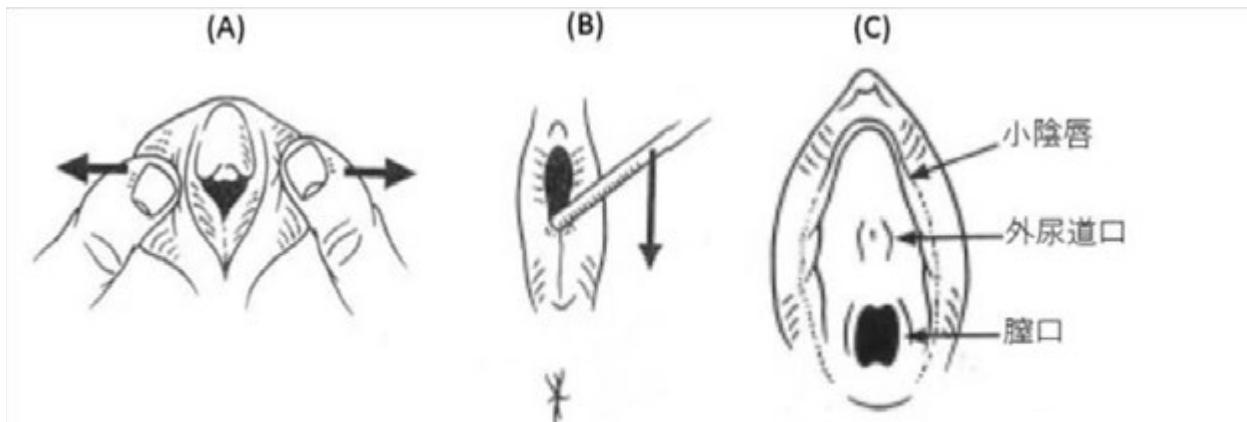


図3 癒着剥離術の実際

- (A)剥離前の状態。癒着上端に排尿孔を認める
- (B)外科ゾンデを孔に挿入。手前に跳ね上げながら剥離する
- (C)剥離後の開放状態

Beasley, Hutson, Auldist : Essential Paediatric Surgery, Arnold, 1996より

表1 治療別再発率

治療方法	症例数	再発数	%
剥離のみ	152例	17例	17.2
軟膏*のみ	82例	8例	9.7
剥離 + 軟膏	62例	6例	9.6
	296例**	31例	11.1

*エストロゲン、ゲンタマイシン、G含有ペタメサゾン

**自験例含む文献集計296例(2015調べ)

お知らせ

☆内科では、高齢者新型コロナウィルスワクチン接種のため外来診療時間帯が一部変更になります。

6月7日から8月末まで一般外来開始は午前11時からになります。

☆夏休みは下記の通りです。

お薬等の確認をお願いします。

内科 小児科 保育室とも
8月22日(日)～29日(日)はお休みで
す。
8月30日(月)から通常通り診療します。